

トワロンと東
イングと南貿易

バグフィルター用リテーナ

グッドデザイン賞受賞

SDGs、労働環境改善に貢献

被覆線メーカー、トワロンのグループ会社、トワロントレードリング（本社・大阪府堺市、社長・藤本貴美嘉氏）と鉄鋼専門商社の東南貿易（本社・東京都中央区、社長・長峯茂氏）が共同で開発したバグフィルター（工業用大型集塵機）用リテーナ「ReBorn」は写真は、今月、グッドデザイン賞を受

いる。「ReBorn」は集塵性能を維持するリテーナと呼ばれるカゴで、ろ布内の骨部材として用いる。同製品は従来の金属製のリテーナと比べ、

過酷な環境下でも錆びないため、ろ布と骨部材がくっつかず、取り換え・分別廃棄が容易だ。また、運搬時に小さくしまい込むことができ、重さも従来の半分以下。取り換え作業者の負担軽減にもつながる。

は、7月末に日本製鉄東日本製鉄所君津地区で170本採用。足元でも問い合わせは増加している。グッドデザイン賞審査員はSDGsに貢献

することに加えて、「基本的には人目に触れる製品ではないが、造形・仕上げの品質も高く、非常に優れたデザイン」とコメント。開発者は「時代に合っ

た、ユーザーニーズに
応える製品が評価され
うれしく思う。今後も
拡販を図り、業界のS
DGs推進に努めた
い」と話す。



GOOD DESIGN
AWARD 2022

